

軍務局

供覽

軍令部

次長

第一局

二五号

軍事課

印

印

印

外國軍艦入港之義ヲ付報告

船体ハ黒色ニシテ煙筒白色煙千噸餘ノ汽船

旗章及ヒ船跡ハ別紙畧圖ノ如ク

乗込員ハ大凡ソ八拾有余名ト見受ケタリ

乗込員ハ軍服ヲ着シタル露西亞人ナリ

右ハ本月二十日夜部内利尻郡皆形村湾内ニ

入港シ全二十日風雨ノ為メ警戒ヲ要シツアリ

タル處全二十日午前六時頃ニ到リ全湾内及ヒ

岸マダツツカノ附近ヲ回航シ或ハ端艇ヲ下シテ

湾内ヲ廻リタルハ近海測量ノ為メ来リタルモノ

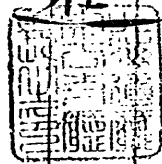
様推測セラル又乗込員ハ内士官体ノ軍服ヲ着

シタルモノモ数名乗込居タル旨所轄利尻郡

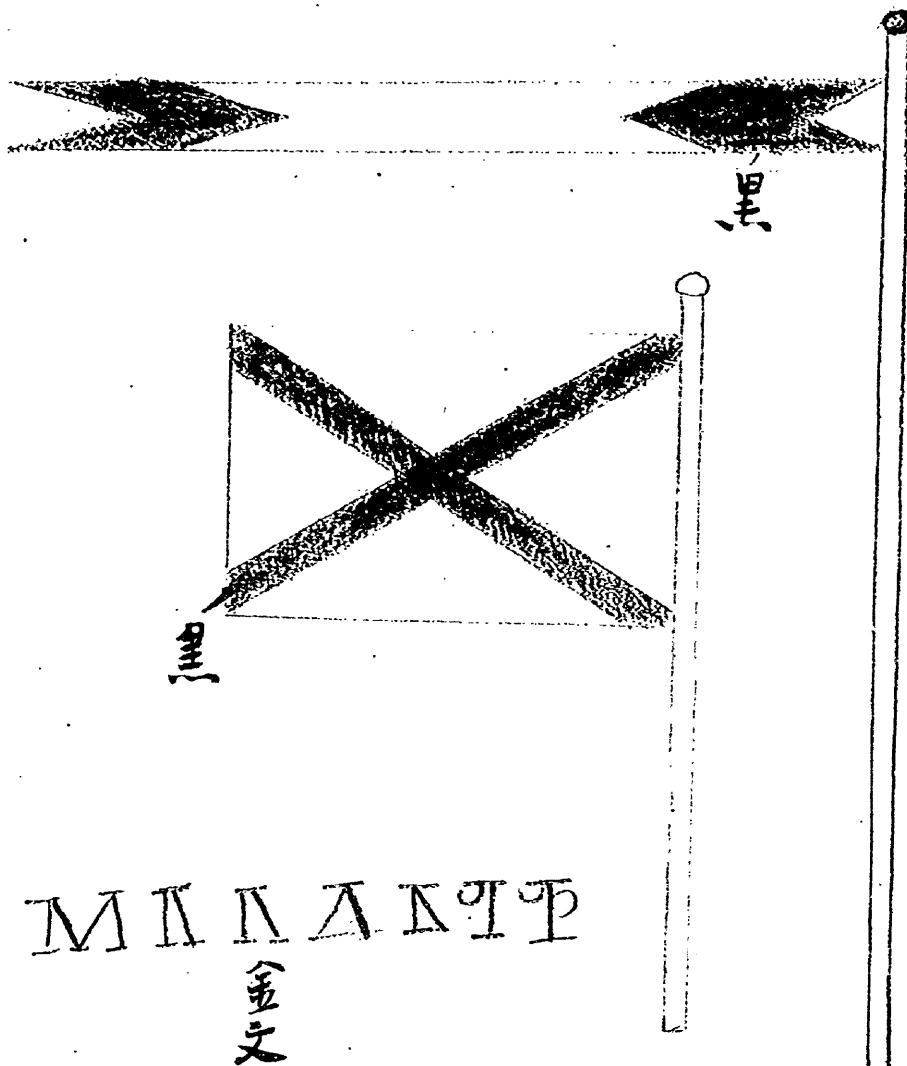
鷺泊外二村戸長ヨリ報告越シタルニ依リ全港  
投錨ノ日時其他取調中ナレバ取敢此段及  
御報告候也

明治三十一年九月二十八日

北海道廳宗谷支廳長松村雄之進



海軍大臣候爵西郷從道殿

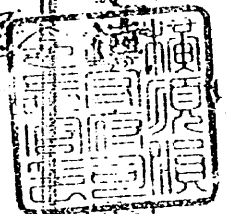


𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔

金文字

十月十日

二二五



軍事課

有馬

本課

龍川

陸軍省

供覽

軍令部

外國軍艦入港之義ニ付報告

一 船体、黒色ニシテ煙筒白色者千噸餘ノ汽船

一 旗章及ニ船跡ハ別紙畧圖ノ如ク

一 乗込員ハ大凡ソ八拾有余名ト見受ケタリ

一 乗込員ハ軍服ヲ着シタル露西亞人ナリ

右ハ本月二十日夜部内利尻郡省形村湾内ニ

入港シ全二十日風雨ノ為メ警戒ヲ要シツ、アリ

タル處全二十二日午前六時頃ニ到リ全湾内及ヒ

字「マタツツカ」附近ヲ回航シ或ハ端艇ヲ下シテ

湾内ヲ廻リタルハ近海測量ノ為メ来リタルモノ、

様推測セラレ又乗込員ノ内士官体ノ軍服ヲ着

シタルモノモ数名乗込居タル旨所轄利尻郡

錨泊外二村戸長ヨリ報告越シタルニ依リ全港  
抜錨日時其他取調中ニモ不取敢此段及  
御報告候也

明治三十一年九月二十八日

北海道廳宗谷支廳長松村雄之進



横須賀鎮守府司令長官較嶋員規殿



K A M Λ Λ Δ T F

金文字

カマラデル

軍務局

次官

軍令部

次長

第一局

第二局

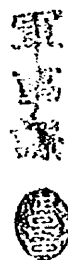
秘宗第一一五号

客月二十日秘宗軍第一一五号ヲ以テ外國軍  
艦入港之我ニ付及御報告スル處仍ハ拔錨  
ノ日時等ヲ取調フルニ同月二十二日午後六時  
頃拔錨東北ニ向ヒ進行シ去リ又背形湾内  
碇泊中戸長ハ訪問ノ為メ舟ニ樟シ同艦ニ  
近キタルモ乗込員ニ合テ頻リニ手ヲ振り乗艦ヲ  
拒ミタルヨリ其終立帰リタル我ニ有エヌ矣右  
及御報告スル也

明治三十一年十月十日

北海道廳宗谷支廳長松村雄之進

海軍大臣伯爵西鄉從道殿



王清惠廟名表

1171

十月十八日進

供覽

軍令部長

秘宗第二五号

参謀長

細谷

参謀

副官

秘宗第二五号

客月二十八日秘宗甲第ニ五号ヲ以テ外國軍艦入港之我ニ付及御報告ス又倭仍ホ被錨ノ日時等ヲ取調フルニ同月三十一日午後六時頃被錨東北ニ向ヒ進行セ去リ又背多湾内碇泊中戸長ハ訪問ノ為メ小舟ニ停シ同艦ニ近キタルモ乗込員ニ於テ頻リニ手ヲ振リ東艦ヲ拒ミタルヨリ其俟立帰リタルヲ我ニ有ク又条石及御報告ス也

明治三十九年十月十日

北海道廳宗谷支廳長松村直之進

横須賀鎮守府司令官鮫島貞規殿



軍務局



供覽



軍令部

次長

第一局

第三六八

坤啓言第二四二号

客月十三日官房第三六二八号ノニヲ以テ怪

シト艦船出沒ノ件ニ付以照會ニ依リ尚

詳細取調ヲ處左記之通りニ有之

此段及回答也

明治三十一年十月三日

島根縣知事河野忠三



海軍次官男爵伊藤嘉吉殿

船船去來ノ航路

去來ノ航路別紙圖面ノ如クニシテ七月十有

三ノ船船ノ北方ヨリ別府村字ニ浦沖合ニ

来り之時間程船止ノ夫ヨリ航路ヲ稍ヤ  
 西方海岸ニ採リ美田村字高崎鼻ノ  
 沖合ヨリ南方ノ向ケ浦郷村字國ヶ沖マ  
 徐々来リシガ國ヶ沖ヨリ東カ早メラ南方  
 一通過ニシタリ又八月二十九日ノ二船モ此方  
 ヲ美田村字船越海岸ト別府村  
 字ミ、浦ノ中間ニ當ル美田村字高崎  
 鼻ノ沖合ニ来リ一船ハ高崎鼻下ニ離  
 ル十余丁ノ沖合ニ凡ニ時間位船止ノ一船  
 ハ高崎鼻ノ沖合凡一里位ノ処ヲ凡ノ二時  
 間位徐行シ夫レヨリ二船共ニ西方海岸  
 ノ沖合凡ソ一里位ノ処ヲ通過シ浦郷村  
 字國ヶ沖ノ西方ニ當ル沖合ヨリ西ニ折シ速

カラ早ノヲ進行セリ

一 沿岸ノ形状地名及距離

沼岸ノ形状、別紙圖面ノ如シ而シテ地名、知夫郡別府村字立島、今般島、今二子島、今、浦美田村字高崎、今外濱、今井久利島、今平島、浦御村字園ケミシテ以上ノ内人家ハ字ニ、浦ニ一戸アルモ其他ハ更ニ人家ナリ距離ハ近キハ十町、遠キハ五里ナリ

一 船艦ノ形状

別紙略圖ノ如シ尤モ本圖ハ遠カニ望ミ觀シタルモノナルヲ以テ其詳細ヲ知ルヲ能ハス

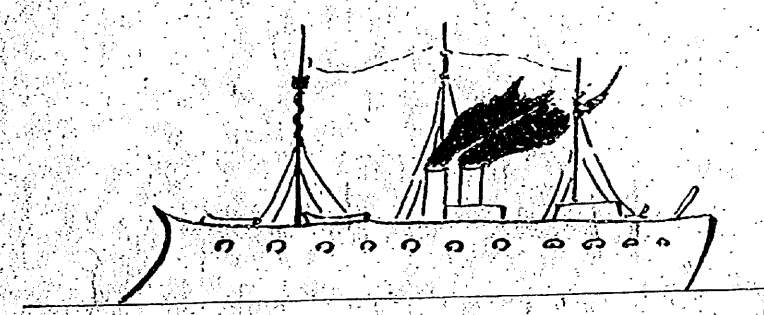
一 船隻ノ徐行ノ場所及時間

古地図ノ参考

七月十九日、一船、別府村字之浦近傍  
ヨ浦御村字國ヶ沖合近徐行シタルモノ  
ミシテ七月十九日午後二時ヨ、今五時迄、  
間ナリ亦八月廿九日ノ二船、知夫郡別府  
村字之浦ト美田村字高崎鼻ト中間  
ニ位スル美田村字高崎鼻ノ沖合凡ッ  
十町余ノ所ニ一船ハ止マリ一船ハ高崎鼻  
ノ沖合凡一里計リノ處ニ徐行シ居タル  
者ミシテ本年八月二十九日午後四時三十分  
頃ヨ、今六時三十分頃迄ノ二時間程ナリ

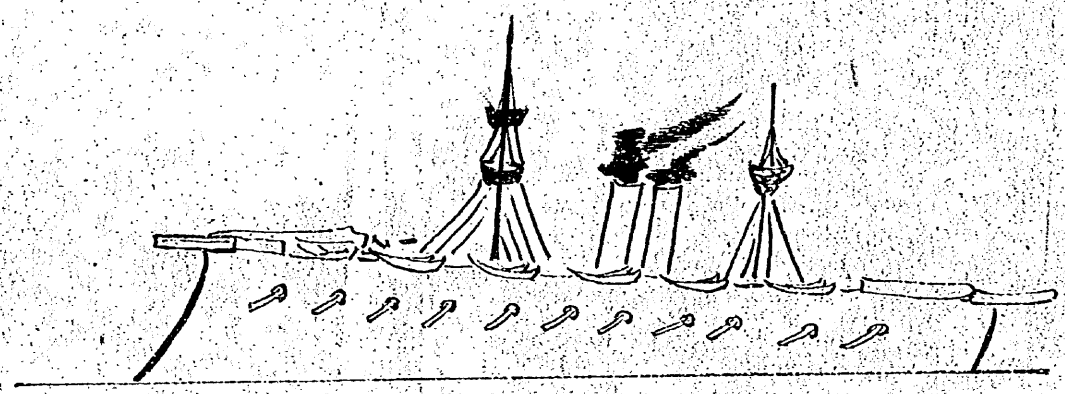
七月廿九日通過ノ方  
但塗色馬

第一圖

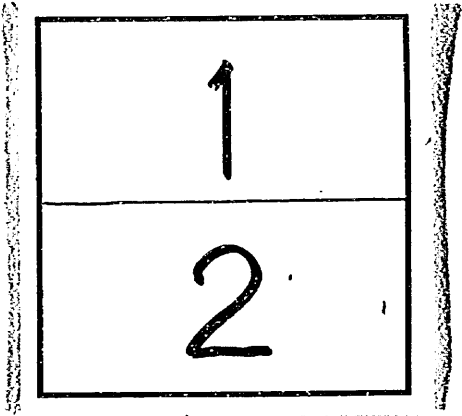


八月廿九日通過ノ方  
但塗色二艦失馬  
本國ハ二艦ノ内陸地ヨリ最近  
距離ヲ示ス他ノ一艘ハ仲合  
遠方ニ在リタルヲ以テ分明ナ  
ラズ指本艦ノ全レヲ辨認メ  
タレト云フ  
而レテ抽艦第一門ノ大砲アリ  
テ一方ニ大砲ノホーロー付屬シ  
居タル事ハ後見者記憶シ  
居レリ

第二圖

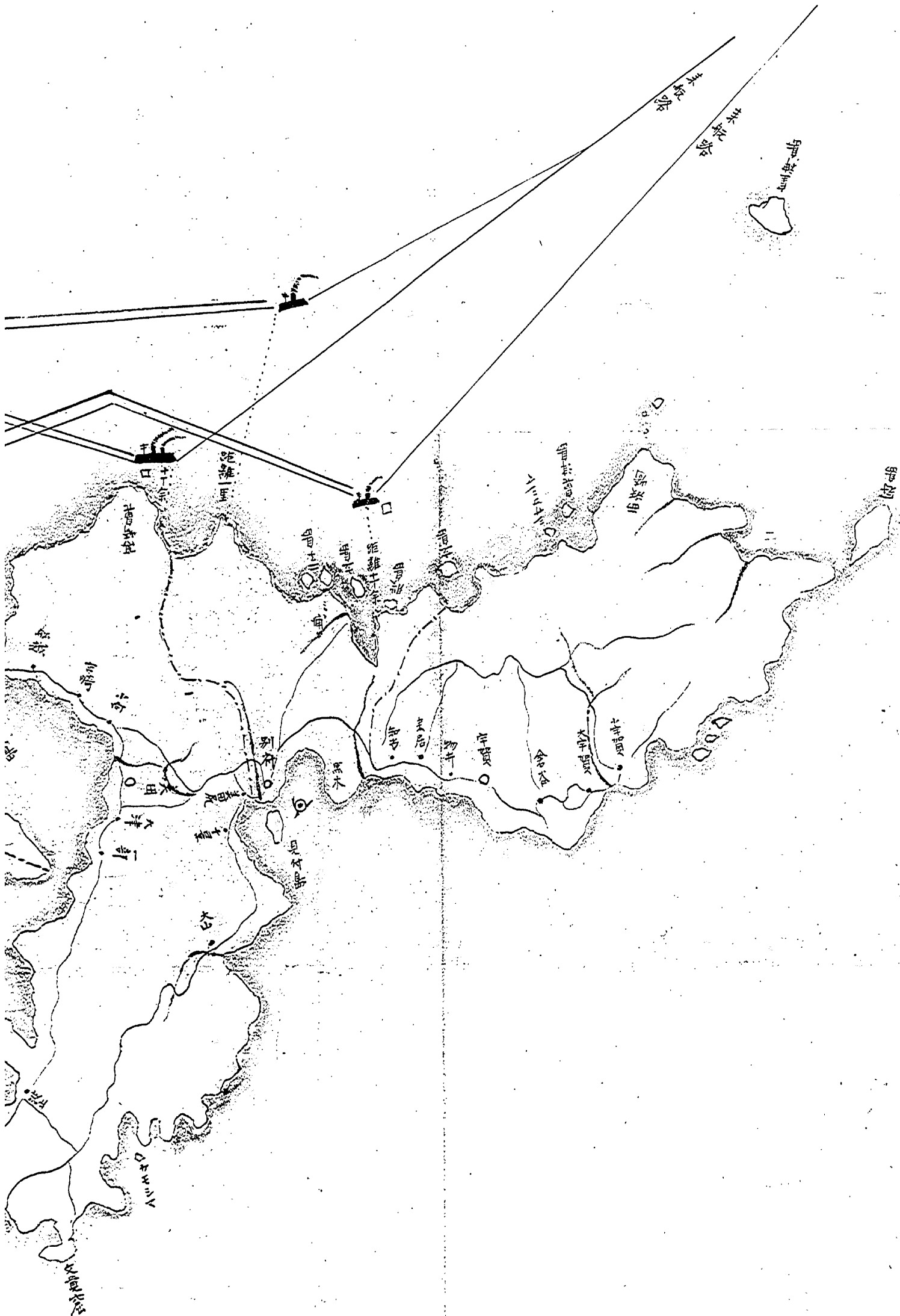


# 分割撮影ターゲット

|                             |                                                                                     |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 分割した<br><br>部分の<br><br>撮影順序 |  |
| 分割撮影<br>した理由                | A 3 版 以 上 の た め                                                                     |
| 上記のとおり分割撮影した事を証明する。         |                                                                                     |

凡例

- 黒線航路、七月十九日通過ノ分
- 赤線航路、八月廿九日通過ノ分
- 紫線、艦艇進行ノ場所
- ..... 赤兵ハ距離ヲ示ス
- 、艦艇進行停止ノ場所



1179

1180

